

KORIYAMA SHINKIN REPORT

まごころバンクレポート 2022.9

令和4年度上半期ディスクロージャー誌

●令和4年4月1日～令和4年9月30日●

令和4年度上半期業績●地域貢献活動●TOPICS



あなたのおしたに…まごころバンク

郡山信用金庫

理事長あいさつ



皆さまには平素より、郡山信用金庫をご愛顧賜りまして、心から御礼申し上げます。
令和4年度も半期が経過し、6カ月間の事業内容、業績等をまとめたミニディスクロージャー誌「まごころバンクレポート2022.9」を刊行いたしましたので、ご覧いただければ幸いです。

さて、世界経済は、欧米などの中央銀行がインフレ抑制を目的とした政策金利の引き上げなどの金融引き締めを継続しており、景気後退の懸念が高まっております。

一方、我が国の金融政策は、日本銀行の金融緩和政策の継続により、市場金利は未だ低位推移しております。

その様な状況下、足もとの日本経済を見ると新型コロナウイルス感染症の抑制と経済活動の両立を進めるなかで人流が回復し、個人消費は高い伸びを示すなど成長のペースは加速しています。その一方で、ロシアによるウクライナ侵攻に端を発したエネルギー価格や穀物価格の高騰、加えて日本と海外の金融政策の違いによる金利差拡大により為替相場は円が大きく下落するなど、輸入物価の上昇に拍車をかけ、国内消費者物価指数は上昇基調となり経済の回復に水を差すような状況となっております。

県内経済をみると個人消費は、外食や旅行等のサービス消費を中心に供給制約の影響が見られるものの、新型コロナウイルス感染症の影響が和らぎ緩やかに持ち直している状況ですが、先行きについては、物価上昇による個人消費への影響、供給制約による生産面への影響、また雇用・所得の動向には注意する必要があります。

当金庫の令和4年度の中間期業績におきましては、預金は個人預金、法人預金の増加により前期末比51億35百万円増加し2,281億20百万円となりました。貸出金は、金融・保険業および卸・小売業向け貸出、住宅ローン等の増加により、前期末比17億38百万円増加し1,040億86百万円となりました。損益面では業務収益の増加により、当期利益は前年同月比25百万円増加し3億25百万円となりました。

当金庫は令和5年度に創立100周年を迎えます。これもひとえに皆さまの永きに亘るご支援の賜物と心より感謝申し上げます。これからも、役職員一同、地域のお役に立ち、皆さまに信頼され安定かつ永続的な経営の確立に努め、業務に精進してまいります。

皆さまには、引き続き変わらぬご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

令和4年11月

理事長 有馬 賢一

ぐんしんについて

基本理念

共生 そして未来への挑戦

経営理念

- ぐんしんは地域の発展に貢献します
- ぐんしんはお客様との信頼を大切にします
- ぐんしんは働きがいのある職場をつくります
- ぐんしんは健全経営に努めます



上段左より 柳沼伸也常勤監事、遠藤潤一常勤理事、西間木広美常勤理事、長尾正正常務理事、伊藤清正常務理事、渡邊公靖常勤理事、橋本優子常勤理事
下段左より 安藤智重非常勤監事、平雄一非常勤監事、有馬賢一理事長、根本一彌非常勤理事、滝田康雄非常勤理事、齊藤久之丞非常勤理事

当金庫の概要 (令和4年9月30日現在)

名称	郡山信用金庫
主な業務	預金・定期積金の受入 貸付・手形割引 為替取引 その他の付随業務
理事長	有馬 賢一
本店	福島県郡山市清水台二丁目13番26号 TEL 024(932)2222(代) FAX 024(923)3955 URL https://gunshin.co.jp/
創立	大正13年3月8日
出資金	1,325百万円
会員数	23,590人
預金積金	228,120百万円
貸出金	104,086百万円
役職員	201名
店舗数	19店舗

営業地区一覧

郡山市 須賀川市 二本松市 田村市
本宮市 安達郡一円 田村郡一円
岩瀬郡一円 石川郡のうち平田村、
玉川村、石川町、いわき市のうち
川前町、三和町(ただし、三和町のうち
上三坂、中三坂、下三坂に限る。)
双葉郡のうち川内村、葛尾村



Next100th ステージ2

ぐんしん『支援力の強化と変革への挑戦』3カ年計画 ～課題解決による地域経済の力強い回復を目指して～

当金庫は、令和5年度(令和6年3月8日)に創立100周年を迎えます。

中期3カ年経営計画は、創立100周年に向け、信用金庫本来の姿であるお客様とのリレーションシップにより、お客様、地域が抱える課題の解決に尽力し、地域経済の活性化と豊かな地域社会への貢献を通して信頼される金融機関を目指すというテーマです。

基本理念 共生 そして未来への挑戦

経営理念

ぐんしんは地域の発展に貢献します

ぐんしんはお客様との信頼を大切にします

ぐんしんは働きがいのある職場をつくります

ぐんしんは健全経営に努めます

中期3カ年経営計画 (令和3年4月～令和6年3月)

重点施策

- 1. 財務基盤の管理・強化(収益力・健全性)**
 - ① 収益管理の徹底
 - ② 収益力の強化
 - ③ 健全性の管理強化
 - ④ 生産性・効率性の向上
- 2. 顧客基盤の拡大**
 - ① 顧客支援力の強化
 - ② 営業力の強化
 - ③ 地域経済活性化への貢献
- 3. 人材の育成**
 - ① 職員のスキル強化
 - ② 働きがいのある職場づくり
 - ③ 組織力の強化
- 4. 法令等の遵守**
 - ① コンプライアンスの遵守

主要 計画 計数

規模

- 貸出金平残
105,775百万円

収益性

- コア業務純益
268百万円
- コア業務純益(投信解約益除く)
218百万円

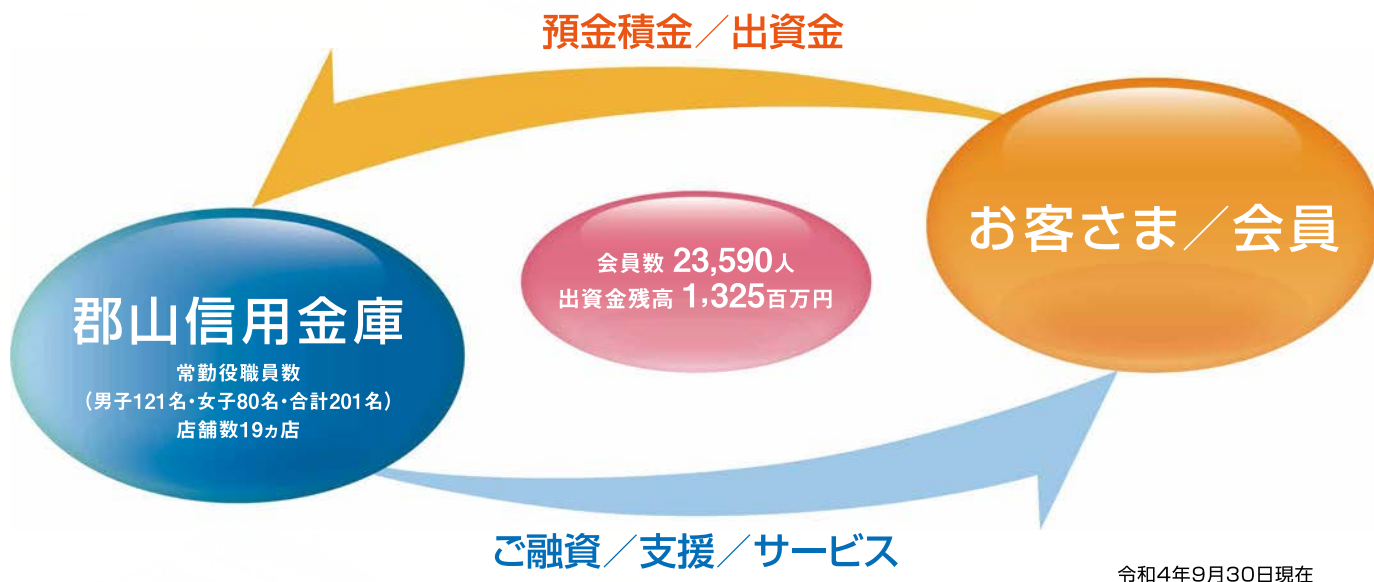
健全性

- 自己資本比率
12.00%以上
- 不良債権比率
2.39%以下(金融再生法)

地域社会の再生・活性化をめざして

一地域と運命共同体であるぐんしんはふれあいを大切に、地域発展に努めています

地元への貢献、地域の活性化を進めることがぐんしんの使命です



<なりすまし詐欺被害の防止への取組みについて>

当金庫はなりすまし詐欺の被害を未然に防止するため「ぐんしんなりすまし詐欺防止コールセンター」の設置や、警察による講習会の受講、アドバイザーの任命、「なりすまし詐欺被害未然防止川柳」チラシを窓口のほか渉外訪問先のお客さまにも配布し、注意喚起を行うなど詐欺被害防止に積極的に取り組んでおります。



新型コロナウイルス感染症に対する 緊急経営相談窓口

全営業店に相談窓口を
設置しております。

新型コロナウイルス感染症対策資金や各種ローンについて、お気軽にお問合せください。お客さまに寄り添ったご提案をさせていただきます。まずは、お近くの営業店まで、ご相談ください。

主なトピックス

- 令和4年4月1日 ● 令和4年度辞令交付式並びに新入職員入庫式
- 令和4年5月28日・29日 ● 第69回福島県信用金庫親善野球大会（優勝）
 - ・ 福島市 信夫ヶ丘球場
- 令和4年6月1日～3日 ● 地区別総代懇談会6階大会議室で開催
- 令和4年6月17日 ● 第99期通常総代会
- 令和4年7月6日 ● 第23回ぐんしん年金友の会連合会親善グラウンド・ゴルフ大会（87名参加）
 - ・ バーデン グラウンド・ゴルフクラブ
- 令和4年7月23日・24日 ● 第66回東北地区信用金庫野球大会（準優勝）
 - ・ 青森県八戸市 長根野球場
- 令和4年8月5日 ● 郡山うねめまつり「うねめ踊り流し」（114名参加）

4月



新入職員入庫式

5月



福島県信用金庫親善野球大会

6月



第99期通常総代会

7月



グラウンド・ゴルフ大会

8月



郡山うねめまつり「うねめ踊り流し」参加



郡山うねめ踊り流しコンクール団体の部
準大賞受賞

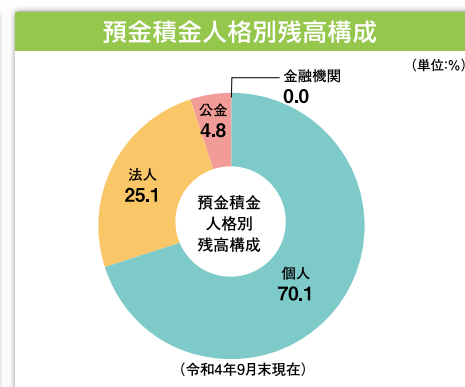
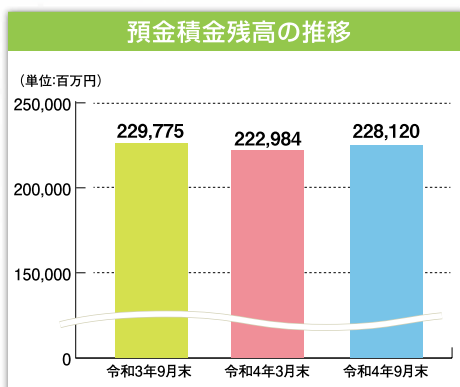


令和4年度上半期業績のご報告について

預金積金の状況

預金積金は51億円の増加となりました。

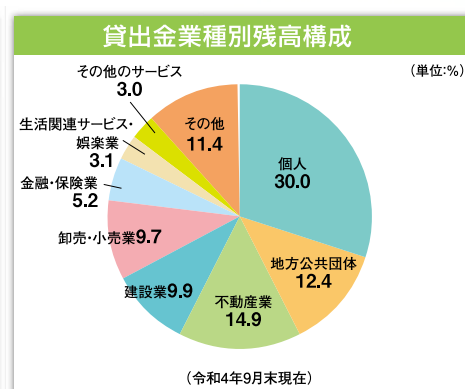
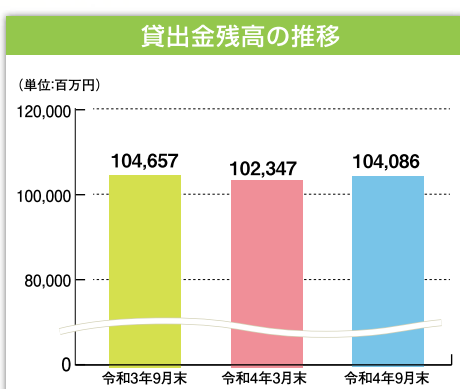
預金積金残高は、個人・法人預金の増加により、前期末比51億35百万円増加し2,281億20百万円となりました。



貸出金の状況

貸出金は17億円の増加となりました。

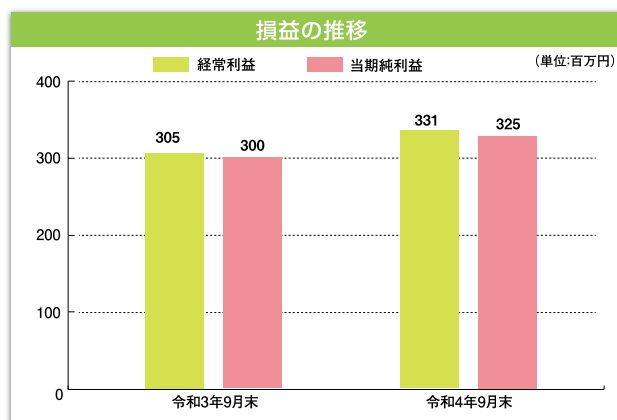
貸出金は、金融・保険業及び卸業・小売業等の増加により、前期末比17億38百万円増加し、1,040億86百万円となりました。



損益の状況

当期純利益は3億25百万円となりました。

資金運用環境は、世界的な金利上昇や円安の進行、他行競合等により依然として厳しい環境にあります。国債等債券売却益の計上や信用コストの減少等により、当期純利益は前年同月比25百万円増加し、3億25百万円となりました。



主要な業務の状況を示す指標

(単位:百万円)

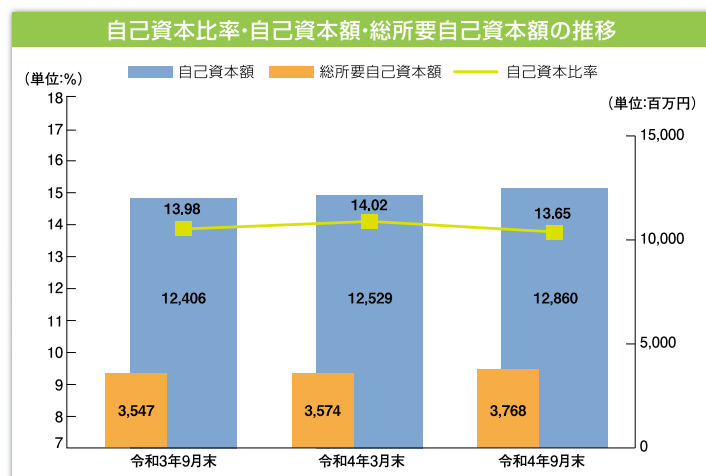
	令和3年9月末	令和4年9月末
業務純益	248	269
実質業務純益	248	269
コア業務純益	248	189
コア業務純益(投信解約損益を除く)	142	189

自己資本充実の状況

自己資本額増加し、経営体力はさらに強化されました。

自己資本額は、前期末比3億31百万円増加し128億60百万円となりました。自己資本額は出資金や利益剰余金等で構成されており、自己資本額の内容も十分です。

自己資本比率は、13.65%で国内金融機関の自己資本比率基準の4%を大幅に上回っております。



自己資本の充実度の状況

項目	令和3年9月末	令和4年3月末	令和4年9月末	(単位:百万円・%)
自己資本額(A)	12,406	12,529	12,860	
①コア資本に係る基礎項目の額	12,448	12,575	12,903	
②コア資本に係る調整項目の額	△ 42	△ 45	△ 42	
リスク・アセット等(B)	88,683	89,368	94,215	
③信用リスク・アセット	84,494	85,001	89,849	
④オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8パーセントで除して得た額	4,189	4,366	4,366	
自己資本比率 = $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	13.98	14.02	13.65	
単体総所要自己資本額 = (B) × 4%	3,547	3,574	3,768	
⑤信用リスク・アセット = ③ × 4%	3,379	3,400	3,593	
⑥オペレーショナル・リスク = ④ × 4%	167	174	174	

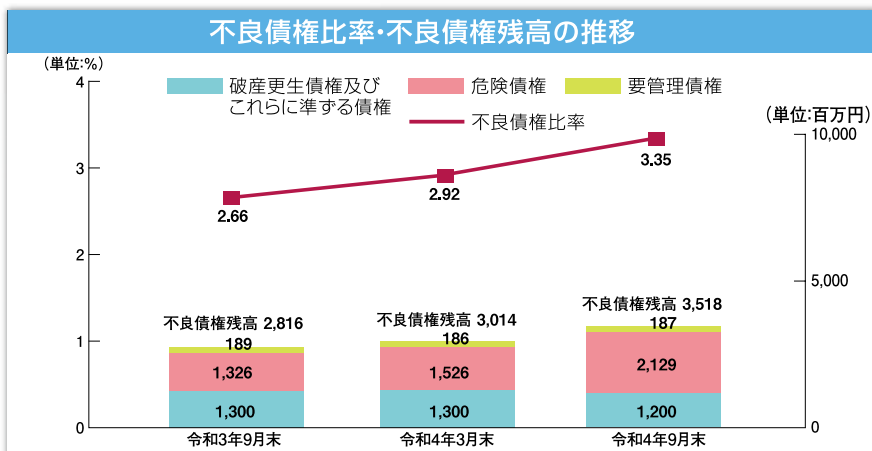
1. 総所要自己資本額=リスク・アセット×4%
2. オペレーショナル・リスクは、当金庫は基礎的手法を採用しております。

(注) 自己資本比率の算出方法を定めた「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫及び信用金庫連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(平成18年金融庁告示第21号)」に基づき算出しております。なお、当金庫は国内基準を採用しております。

金融再生法開示債権の状況

不良債権比率は3.35%
となりました。

令和4年9月時点の不良債権は35億18百万円、不良債権比率は3.35%です。不良債権に対しては、担保・保証及び貸倒引当金により86.56%が保全されております。



有価証券の時価情報

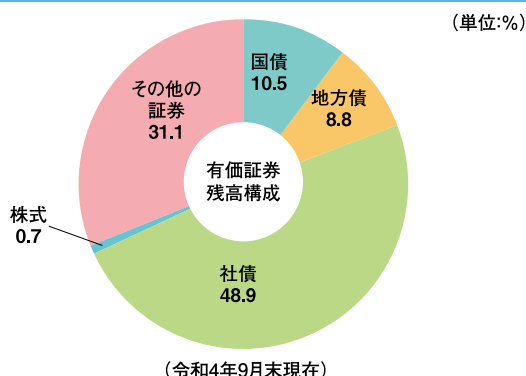
有価証券は残高が前期末比3億48百万円の増加となりました。

米国を始めとする世界各国が金融引き締めを進めたことで、資金運用環境は極めて難しい状況にあります。リスク分散を図りながら有価証券の運用を行った結果、有価証券残高は前期末比3億48百万円増加し709億33百万円となりました。

売買目的有価証券

該当するものはございません。

有価証券残高構成



満期保有目的の債券

	種類	令和4年3月末			令和4年9月末		
		貸借対照表計上額	時価	差額	貸借対照表計上額	時価	差額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	債券	564	591	26	555	574	18
	その他	—	—	—	—	—	—
	小計	564	591	26	555	574	18
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	債券	414	409	△4	399	393	△6
	その他	—	—	—	—	—	—
	小計	414	409	△4	399	393	△6
合計		978	1,001	22	955	967	12

1. 時価は、末日における市場価格等に基づいております。
2. 上記の「債券」は、国債、地方債、短期社債及び社債です。
3. 上記の「その他」は、外国証券及び投資信託等です。
4. 時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は本表に含めておりません。

その他有価証券

	種類	令和4年3月末			令和4年9月末		
		貸借対照表計上額	取得原価	差額	貸借対照表計上額	取得原価	差額
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	株式	259	209	50	88	70	18
	債券	21,447	21,142	304	8,668	8,614	54
	その他	5,917	5,677	239	4,542	4,443	98
小計		27,624	27,029	594	13,299	13,128	171
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	株式	186	246	△60	386	442	△56
	債券	26,847	27,180	△332	38,783	39,753	△970
	その他	14,936	15,700	△764	17,497	19,536	△2,039
小計		41,969	43,127	△1,157	56,667	59,733	△3,066
合計		69,594	70,157	△563	69,966	72,862	△2,895

1. 貸借対照表計上額は、末日における市場価格等に基づいております。
2. 上記の「債券」は、国債、地方債、短期社債及び社債です。
3. 上記の「その他」は、外国証券及び投資信託等です。
4. 時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は本表に含めておりません。

おかげさまで支店開設30・70周年を迎えることができました。

30周年 台新支店 開設日／平成4年10月1日

おかげさまで台新支店は30周年を迎えました。



《交通網の整備と共に発展する街に開設して30年》

台新支店は、当金庫19番目の支店として平成4年10月1日に開設され、30周年を迎えました。当支店は郡山湖南線沿いの台新二丁目に立地し、郡山市台新、静町、鳴神、島2丁目、堤2・3丁目、開成5・6丁目、御前南1・2丁目、大槻町の一部を営業エリアとして活動しております。

当支店が立地する台新は、昭和42年に島前、谷地林、台新田の3地域を統合し現在地名となっております。営業エリア内には、西に国道4号線(旧バイパス)、コスモス通り、東に国道49号線、南に静御前通りが走る交通の要所です。また、平成21年に完成した、台新・針生の4号バイパス(現在の国道4号線)立体化事業は、渋滞の緩和と同時に沿線の発展に大きく寄与し、さくら通り・コスモス通り・静御前通りには多くの商業施設が立ち並ぶほか、鳴神、堤に続き、御前南の区画整理事業により人口の増加は目覚ましく活気ある街並みとなっております。当支店は地域のさらなる発展に今後も尽力して参ります。

《台新支店開設30周年にあたって》

台新支店はお陰様で10月1日に開設30周年を迎えました。支店開設30周年を迎えることが出来たのは、ひとえに地域の皆様のご支援の賜物と感謝申し上げます。この感謝の気持ちをもって、地域の皆様から愛され、頼りにされる台新支店を今後も築いていきたいと思っております。台新支店職員一同、全力で地域の発展に尽力する所存ですので、これまで同様、ご支援の程よろしく申し上げます。

台新支店 支店長 長谷川 貴幸

《地域の皆様に寄り添う金融機関を目指すことをモットーに》

地域の皆様が抱える問題や課題に対し、職員が寄り添い一緒になって解決できる金融機関を目指します。お困りごとや相談等がある際はお気軽にお声掛け下さい。



70周年 三春支店 開設日／昭和27年9月20日

おかげさまで三春支店は70周年を迎えました。



《城下町の風情ある街に開設して70年》

三春支店は当金庫第1号の支店として昭和27年9月20日に開設され今年で70周年を迎えました。当支店は、三春駅から東南1.7キロ、県道288号線沿いの三春町大町に立地し、三春町全域と近隣市の一部を営業エリアとして活動しております。

三春町は、戦国武将 田村氏が当地に城を構えたことから、城下町として栄え、その名残は、今でも多くの神社仏閣や蔵などが町の中心市街地に点在しており、それらを祀る四季折々の祭事も盛んに行われています。三春町は日本三大桜の「三春滝桜」のほか、町内には約10,000本の桜が咲き誇り全国的に桜の名所として知られております。桜のシーズンには町を挙げて歴史的・文化的遺産や地元農産物など、町の資源を積極的にアピールし、全国から数多くの観光客が訪れております。

このほか町郊外には大平工業団地、田村西部工業団地が立地し磐越自動車道船引三春インターチェンジに隣接していることから、交通アクセスの利点から首都圏に本社を持つ大手企業が進出しております。「城下町の風情がある街並み」、「桜の観光地」、「近隣中核市へのアクセスが良い利便性」といった多くの魅力を有する三春町の発展に当支店は今後も尽力して参ります。

《三春支店開設70周年にあたって》

三春支店は令和4年9月20日で70周年を迎えました。支店開設70周年を迎えることが出来たのは、ひとえに地域の皆様のご支援の賜物と心から感謝申し上げます。この感謝の気持ちを忘れず、これからも地域の皆様と共に成長し、地元に必要なとされる三春支店を築きたいと考えております。今後も地域の発展に貢献出来るよう尽力する所存でございますので、ご指導、ご鞭撻を宜しく願い申し上げます。

三春支店 支店長 福田 清一

《信頼される金融機関を目指すことをモットーに》

お客様、また、地域が抱える課題解決に尽力し、地域社会への貢献を通して信頼される金融機関を目指すことをモットーとし職員一丸となって頑張っております。職員一同、皆様のご来店を心よりお待ちしております。



お客さまからのご意見・苦情・相談・要望等の受付窓口

リスク統括部(平日 9:00~17:00)
TEL.024-932-2227 FAX.024-923-3955

貸付条件の変更等に関する要望・相談・苦情等窓口

審査管理部審査課(平日 9:00~17:00)
TEL.024-932-2225 FAX.024-923-3955

福島県内8信用金庫のATMご利用手数料が

365日 終日無料

- 対象カード
福島県内8信用金庫が発行するすべてのカード
- 対象ATM
福島県内8信用金庫が設置する店舗内・店舗外ATM
- ご利用内容
お預入れ・お引出し
(注)共同ATM等の一部対象外がございます。

当金庫は「でんさいネット」参加金融機関です

ご利用、ご相談は窓口・営業担当へお申し付けください。



全国銀行協会の電子債権記録機関

郡山市

■本店営業部 ☎024-932-2230	■熱海支店 ☎024-984-2280	■東支店 ☎024-944-7761	■開成山支店 ☎024-922-8315	■安積支店 ☎024-945-3040
■卸町支店 ☎024-959-6550	■菜根支店 ☎024-922-7222	■希望ヶ丘支店 ☎024-952-2411	■富久山支店 ☎024-932-2600	■大槻支店 ☎024-952-3010
■久留米支店 ☎024-945-6701	■並木支店 ☎024-938-7110	■台新支店 ☎024-934-1136	■金屋支店 ☎024-942-6760	■八山田支店 ☎024-934-0411

田村市・田村郡

■三春支店 ☎0247-62-2105	■川内支店 ☎0247-61-6188
■小野町支店 ☎0247-72-3115	■船引支店 ☎0247-82-1160

店舗のご案内



あなたのあしたに…まごころバンク
郡山信用金庫

〒963-8630 福島県郡山市清水台二丁目13番26号
Telephone 024-932-2222(代表)
Facsimile 024-923-3955
https://gunshin.co.jp/

(令和4年11月1日現在)